

//////////////////////////////////// 公開研修 //////////////////////////////////////

≈≈≈ 平時と発災時をつなぐ ≈≈≈

誰一人取り残さない福祉防災の備えを図るために



日時：2023年(令和5年)2月17日(金)

午後2時～4時30分(開場：午後1時30分)

会場：兵庫県弁護士会館4階講堂(オンライン併用；Zoom)，参加無料
会場参加の事前申込は不要ですが、定員を80名とさせていただきます。
人数上限を超えた場合、ご参加をお断りさせていただく場合がございます。



講師：湯井 恵美子 氏

□ 高齢者、障害児・者、疾病者、幼者等、要配慮者を支える福祉防災の課題

- ・ (一社)福祉防災コミュニティ協会、福祉防災上級コーチ、防災士
- ・ 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科博士後期課程単位取得後退学
特別支援学校、福祉施設、高齢者の事業継続計画策定支援等の多様かつ豊富な実践活動を行われ、地区防災計画学会、日本災害看護学会、災害復興学会、日本福祉のまちづくり学会等に所属
研究者として、障害者の母として、支援者として誰もが幸せを感じる地域コミュニティをつくるきっかけとなる、福祉防災への取り組みを訴えておられます。



講師：津久井 進 氏

□ 被災者支援と災害ケースマネジメントの役割

- ・ 前日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長、弁護士
- ・ 元阪神・淡路まちづくり支援機構(現近畿災害対策まちづくり支援機構)事務局長
災害ケースマネジメント・ガイドブック他著書多数
ひとりひとりの被災者を支援すべく、災害ケースマネジメントにおいて、その個別の被災状況、生活状況を把握して、ニーズに対応した計画と支援を実践し、支援者の連携を提唱しておられます。

今、福祉防災の課題解決に向けて必要なこと ~~~~~

現在、要配慮者の個別避難計画の策定努力義務が法定され、自治体及び社会の各分野で、福祉防災への対応が、より重要な課題となっています。

要配慮者支援のため、湯井先生からは、過去の実践事例、災害時の事例等のご報告により、様々な問題提起をいただき、津久井弁護士からは、災害ケースマネジメントがどのようなもので、なぜ必要か、どのような役割をもっているかご提言をいただき、お二人の第一線で対応された体験をふまえたご報告から、自治体・社会福祉協議会職員、福祉系その他の専門士業、ボランティア等支援者の方々へ公開の研修といたし、支援のために、多様かつ持続可能な連携が不可欠であるとの問題意識の共有を目指します。

Zoomによるオンライン参加については、どなたでも1000名まで参加可能です。

下記のURLもしくは右記QRコードから事前登録をお願いいたします。

登録時に入力いただいたメールアドレス宛に確認メールが届きます。

当日は、確認メール内に記載のあるURLよりご参加ください。

Zoomによるオンライン参加事前登録URL：<https://us06web.zoom.us/j/82387514979>



問い合わせ先：〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3

兵庫県弁護士会 TEL：078-341-7061

主 催：兵庫県弁護士会 後援(予定)：近畿災害対策まちづくり支援機構
同 (予定) 一般社団法人兵庫県社会福祉士会